

講義概要

演技科

授業科目一覧 演技科

● 1年次

● 2年次

	授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある 教員等授業	省令基準時数分 シラバス提出授業		授業科目名	修得単位時間	必修・選択	実務経験のある 教員等授業	省令基準時数分 シラバス提出授業
実習・演習科目	演技演習	72	必	○		実習・演習科目	公演・制作演習	144	必	○	
	進級公演演習	72	必	○			舞台公演ゼミⅠ	180	必	○	
	演技科夏公a	72	選	○			舞台公演ゼミⅡ	180	必選	○	
	ヨガ・体幹トレーニングa	36	選	○	◆		論文ゼミ				
	アクションプレイa	36	選	○			映像制作実習a	72	選	○	◆
	アクションプレイb	36	選	○			映像制作実習b	72	選	○	
	パントマイム	36	選	○			演技科夏公b	72	選	○	
	日本舞踊	36	選	○			ヨガ・体幹トレーニングb	36	選	○	
	TV演技	36	選	○			アクションプレイc	36	選	○	
							アクションプレイd	36	選	○	
	小計	432				小計	828				
専門科目	映像演技基礎Ⅰ	72	必	○		専門科目	発声発音Ⅲ	36	必	○	◆
	映像演技基礎Ⅱ	72	必	○			演技総合	36	必		
	舞台演技基礎Ⅰ	72	必	○							
	舞台演技基礎Ⅱ	72	必	○							
	発声発音Ⅰ	36	必	○	◆						
	発声発音Ⅱ	36	必	○							
	感情表現	36	必	○							
		小計	396					小計	72		
特別科目	学園行事Ⅰ	72	必			特別科目	学園行事Ⅱ	72	必		
	芸術鑑賞Ⅰ	36	必				芸術鑑賞Ⅱ	36	必		
	小計	108					小計	108			
一般選択科目	アクション演習	36	選	○		一般選択科目	フォトポートレート	36	選	○	
	映画鑑賞	72	選	○							
	小計	108					小計	36			

1年次時間数 合計 1044 時間

2年次時間数 合計 1044 時間

全設置授業時数	2088	時間
実務経験のある教員等による授業数	1836	時間
省令で定める基準授業時数 シラバス提出分	180	時間

科目名	演技演習								
担当教員	下出 丞一								
講師紹介	FREE(S)代表取締役。数多くの俳優を育成・マネージメントを経験。舞台「新選組異聞PEACE MAKER」等毎年10本以上の脚本・演出・プロデュースを手掛ける。担当教員は俳優経験を活かし舞台のプロデューサーも手がけてきた。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	進級公演に向けてのより実践的な舞台演技を習得し、お客様の前に立ってプロの演技力を身につける。								
授業概要	お客様の目線に立ち、何を求められているのか？を重点において、舞台演技を学ぶ。客観的な視点を学ぶ為に、動きの意味や意義を教えて、実際の舞台の立ち位置や動きを考えさせる。また最終的に、お客様が観劇しているところで芝居をさせて、お客様の反応を見ながら自分の演技プラン、キャラクター作りも含めて考え、学ばせることを最重要課題とさせ学んでもらう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 演技の会話とは？ 2. 舞台での立ち位置の利用法 3. キャラクターの個性づくり 4. ウソのない芝居作りとは？ 5. 客観的に見て演技する 6. 自然な演技作り 7. 舞台芝居と音楽の在り方 8. 演技以外のパフォーマンス①ストップモーション 9. 演技以外のパフォーマンス②早送り、逆再生 10. 舞台演技総ざらい、演技チェック 11. 進級公演に向けての初通し 12. 通し稽古①(音キッカケ) 13. 通し稽古②(照明キッカケ) 14. 通し稽古③(最終確認) 15. 通し稽古④(総ざらい) 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	進級公演用の台本を配布								
備考	動きやすい服装を着用すること								

科目名	演技演習								
担当教員	田上 ひろし								
講師紹介	俳優／劇団スーパーエキセントリックシアター創立メンバー。「出社が楽しい経済学」「相棒」他多数出演。ラジオ「サンデーヒットパラダイス」は25年目に突入。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	作品を創り上げることにより、他者との共同作業とコミュニケーションの大切さを知る。								
授業概要	台本目線とお客様の目線に立ち、求められているものは何なのかを見つけ、舞台での演技と居方を学ぶ。役を作るとは何をすることなのか、自分が役に入ってゆくのか、役を自分に合わせるのか等、をお客様の反応を見ながら自分なりのプランを立てる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 舞台上でのドラマと会話について 2. 舞台での居方、見せ方を考える 3. 役作りとは何か 4. 芝居のウソとウソの無い芝居 5. 自分の演技を俯瞰で見る 6. ナチュラルな芝居を考える 7. 劇における音楽の重要性 8. セリフの無いキャラクターの芝居とは 9. セリフとエネルギーを届ける事の確認 10. 劇中のシチュエーションによるレッスン① 11. 劇中のシチュエーションによるレッスン② 12. 通し稽古、照明、音響との合わせ 13. 通し稽古 14. 最終通し稽古 15. 発表会、振り返り 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／授業の理解／成果発表								
テキスト・参考書等	初回より台本配布します。								
備考	ジャージ等の動きやすい服での参加。役柄によってはふさわしい服等の用意もある。								

科目名	進級公演演習									
担当教員	下出 丞一									
講師紹介	FREE(S)代表取締役。数多くの俳優を育成・マネージメントを経験。舞台「新選組異聞PEACE MAKER」等毎年10本以上の脚本・演出・プロデュースを手掛ける。担当教員は俳優経験を活かし舞台のプロデューサーも手がけてきた。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。									
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位で行う共同作業が作品を制作する過程で大切だということに気づく ・発表を通して学生がセリフ、表情、動きなど、演技に関する総合的な表現力の成長の確認と進級に向けた課題発見。 									
授業概要	<p>体験学習の一環で芝居作りの過程を実践的に経験し、気づき・発見に結び付けて行います。</p> <p>学生が基礎科目で積み上げた技量を演技公演で発表します。同時に、衣装・小道具・舞台設営に至るまで舞台におけるキャスト・スタッフの仕事も経験し、クラスでひとつの作品を作る達成感を体験させていきます</p> <p>体験学習の一環で芝居作りの過程を実践的に経験し、気づき・発見に結び付けて行います。</p>									
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通し稽古 2. 通し稽古 音響・照明あり 3. 大道具製作・衣装、小道具製作 4. 舞台設営 5. 場当たり・ゲネプロ・本番 6. 受付・会場整理等のスタッフワーク 7. 本番後の振り返り 進級後に向けて 									
評価方法	発表に向けての取組み、スタッフワークにおける協調性、本番で見せる成長具合などを総合的にみて判断します									
テキスト・参考書等	課題台本									
備考	未記入									

科目名	進級公演演習								
担当教員	田上 ひろし								
講師紹介	俳優／劇団スーパーエキセントリックシアター創立メンバー。「出社が楽しい経済学」「相棒」他多数出演。ラジオ「サンデーヒットパラダイス」は25年目に突入。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位で行う共同作業が作品を制作する過程で大切だという事に気づく ・発表を通して学生がセリフ、表情、動きなど、演技に関する総合的な表現力の成長の確認と進級に向けた課題発見。 								
授業概要	<p>体験学習の一環で芝居作りの過程を実践的に経験し、気づき・発見に結び付けて行います。</p> <p>学生が基礎科目で積み上げた技量を演技公演で発表します。同時に、衣装・小道具・舞台設営に至るまで舞台におけるキャスト・スタッフの仕事も経験し、クラスでひとつの作品を作る達成感を体験させていきます</p> <p>体験学習の一環で芝居作りの過程を実践的に経験し、気づき・発見に結び付けて行います。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通し稽古 2. 通し稽古 音響・照明あり 3. 大道具製作・衣装、小道具製作 4. 舞台設営 5. 場当たり・ゲネプロ・本番 6. 受付・会場整理等のスタッフワーク 7. 本番後の振り返り 進級後に向けて 								
評価方法	発表に向けての取組み、スタッフワークにおける協調性、本番で見せる成長具合などを総合的にみて判断します								
テキスト・参考書等	課題台本								
備考	未記入								

科目名	演技科夏公a								
担当教員	加藤 忠可								
講師紹介	俳優／劇団ショーマ創立に参加、退団後フリー。二兎社・プラチナペーパーズ・流山児事務所・SETなどプロデュース公演他、メディアに多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	前期
到達目標	オーディションにより選ばれたキャストで、より実践的な劇創作と発表の場を通して、舞台における観客との関係の中で俳優のあり方を考えられるようにする。								
授業概要	経験値の違う一年生と二年生合同の劇創作を行うことで、お互いに刺激しあいながら俳優として教え、教わることや自分を客観的に見つめ直す機会にする。 オーディションで得た役を通じて配役とは何か、キャラクターとは何かを考え、他の役や作品にリスペクトをもって演じられるようにする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オーディション 2. 顔合せ/基礎トレーニング 3. 台本読み合わせ/基礎トレーニング 4. 台本読み合わせ/基礎トレーニング 5. 台本読み合わせ/基礎トレーニング 6. 立ち稽古/基礎トレーニング 7. 立ち稽古/基礎トレーニング 8. 立ち稽古/基礎トレーニング 9. 立ち稽古/基礎トレーニング 10. 立ち稽古/基礎トレーニング 11. 立ち稽古/基礎トレーニング 12. 立ち稽古/通し稽古/基礎トレーニング 13. 立ち稽古/通し稽古 14. 立ち稽古/通し稽古 15. 発表(本番) 								
評価方法	成果発表、基礎的な技術の習得が出来るか								
テキスト・参考書等	台本配布								
備考	動きやすい服装。立ち稽古に入ったら、自分がイメージする役の衣裳。持ち道具など。								

科目名	ヨガ・体幹トレーニングa								
担当教員	三和 由香利								
講師紹介	ヨガ世界大会ワールドチャンピオン・ヨガ・ピラティス講師／ヨガの世界大会にて日本人初のワールドチャンピオン受賞、ヨガパフォーマンス&レッスンでワールドツアー開催。担当教員はヨガの専門分野に長けている。本講座はこの実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ヨガや体幹のトレーニングを通じて、心身ともにプロフェッショナルとしての意識を鍛える。								
授業概要	ヨガや体幹のトレーニングを通じて、柔軟性、筋力、バランスを整えると共に集中力や忍耐力を養う。また、ヨガの歴史や哲学を学び、さまざまな呼吸法を実践し、広い知識の構築を図る。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、ヨガの歴史 / バランスチェック、ヨガ・体幹の実践トレ 2. DVDに従ってトレーニング 3. ヨガ呼吸法(腹式呼吸・胸式呼吸) / 太陽礼拝の基本、ヨガ基礎・体幹トレ 4. ピラティスの歴史、ピラティス呼吸法インナーマッスル、 / コアトレーニング、ヨガ基礎、重力スイッチ 5. ピラティス呼吸法 / ピラティスマットエクササイズ(腹横筋・腹斜筋) 6. ヨガスートラより八支則について / 呼吸法、ピラティス(テーブルトップ、ブリッジ) / 体幹チェック(タイム計測) 7. ヨガ八支則クイズ、近代ヨガ・ホットヨガの歴史 / サンサルテーション、アーサナ、ハーフプランク宿題説明 8. 宿題チェック、7つの生命エネルギー、チャクラについて / ウッジヤイ呼吸法、スーリヤナマスカラで実践、ヨガ 9. 常温でホットヨガのオリジナルマット体験(前編)、 / カハラバーティ呼吸法、深いシャバアーサナ 10. 常温でホットヨガのオリジナルマット体験(後編)、 / 立位、座位、横臥位、全身アプローチ / 速いシャバアーサナ 11. 完全呼吸法、片鼻呼吸法、動物・植物など生命に特化したアーサナの実施「アニマルヨガ」 12. DVDに従ってトレーニング 13. 体幹トレーニング(腹横筋、腹斜筋を鍛えるハンドレット) / 太陽礼拝A&B、ヨガ、片鼻呼吸法、テストについて 14. ウォーミングアップ、太陽礼拝A&B/アドバンスポーズ/テスト(Cat&Cow→Down dog/Tree/Core training time) 15. ウォーミングアップ、太陽礼拝A&B/アドバンスポーズ/テスト(Cat&Cow→Down dog/Tree/Core training time) 								
評価方法	授業課題の取り組み / 出席率 / 成長レベル								
テキスト・参考書等	ヨガマット / DVD								
備考									

科目名	アクションプレイa								
担当教員	ジェイズプロデュース								
講師紹介	アクションチーム・TeamAZURA発足。新ジャンル「アクションプレイ」を確立を目指す。「戦国BASARA」「ダンガンロンパ」等のアクションを手掛ける。担当教員はアクションや殺陣師として多くの舞台を手掛けている。この実務経験を活かして本高座を担当する。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・殺陣やアクションの基本を身に付け今後の芝居の中で活かせるようになる。 ・場面や状況、芝居のテーマや目的に応じて殺陣やアクションの振る舞いに変化がつけられるようになる ・殺陣やアクションを通して演技を学ぶ 								
授業概要	<p>「剣殺陣の基礎」/「台詞・芝居を入れて殺陣」/「実際に1シーンを作る」 殺陣の基礎訓練と身体形成が主目的です。ストレッチ、筋力トレーニングや柔軟などを経て、体幹を鍛えたり役者としての基本の役作りをしていきます。最終目標として台詞を挟みながら立ち回りをしていきます。芝居とアクションが一体となる「アクションプレイ」を理解し実践できるようにします。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刀の振り方、リアクション、15手 / 千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 2. 刀の振り方、リアクション、15手、移動稽古、千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 3. 前回の復習 4. 前回の復習 / 1vs1(まいて斬る、刀を振り遅れて斬られる、芝居有) 5. 前回の復習 / 1vs1(少し手を難しく) 6. 前回の復習 / 1vs2(攻めのポジション両方) 7. 前回の復習 / 1vs2(全ポジション) 8. 前回の復習 / 和物の立ち回り① 9. 前回の復習 / 和物の立ち回り② 10. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り① 11. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り② 12. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(読み合わせ、殺陣作り) 13. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居指導、殺陣返し) 14. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居有、曲有) 15. 前回の復習 / 台本を使った殺陣(発表) 								
評価方法	授業課題の取り組み / 出席率								
テキスト・参考書等	木刀(学校で用意したもの)・運動できる靴								
備考									

科目名	アクションプレイb								
担当教員	ジェイズプロデュース								
講師紹介	アクションチーム・TeamAZURA発足。新ジャンル「アクションプレイ」を確立を目指す。「戦国BASARA」「ダンガンロンパ」等のアクションを手掛ける。担当教員はアクションや殺陣師として多くの舞台を手掛けている。この実務経験を活かして本高座を担当する。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・殺陣やアクションの基本を身に付け今後の芝居の中で活かせるようになる。 ・場面や状況、芝居のテーマや目的に応じて殺陣やアクションの振る舞いに変化がつけられるようになる ・殺陣やアクションを通して演技を学ぶ 								
授業概要	<p>「剣殺陣の基礎」/「台詞・芝居を入れて殺陣」/「実際に1シーンを作る」 殺陣の基礎訓練と身体形成が主目的です。ストレッチ、筋力トレーニングや柔軟などを経て、体幹を鍛えたり役者としての基本の役作りをしていきます。最終目標として台詞を挟みながら立ち回りをしていきます。芝居とアクションが一体となる「アクションプレイ」を理解し実践できるようにします。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刀の振り方、リアクション、15手 / 千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 2. 刀の振り方、リアクション、15手、移動稽古、千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 3. 前回の復習 4. 前回の復習 / 1vs1(まいて斬る、刀を振り遅れて斬られる、芝居有) 5. 前回の復習 / 1vs1(少し手を難しく) 6. 前回の復習 / 1vs2(攻めのポジション両方) 7. 前回の復習 / 1vs2(全ポジション) 8. 前回の復習 / 和物の立ち回り① 9. 前回の復習 / 和物の立ち回り② 10. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り① 11. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り② 12. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(読み合わせ、殺陣作り) 13. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居指導、殺陣返し) 14. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居有、曲有) 15. 前回の復習 / 台本を使った殺陣(発表) 								
評価方法	授業課題の取り組み / 出席率								
テキスト・参考書等	木刀(学校で用意したもの)・運動できる靴								
備考									

科目名	パントマイム								
担当教員	山田 棟司								
講師紹介	パントマイmist/年間のベストアーティストに選出。「大道芸ワールドカップin静岡」に6年出場。「しまじろうのまねっこダンス」「ためしてガッテン」他多数出演。担当教員はマイmistとしての実務経験を活かし、基礎から応用までのパントマイ指導が可能である。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パントマイ入門で学んだテクニックの復習 ・オリジナルの作品作り 								
授業概要	パントマイとは何か。パントマイが舞台演技でも映像演技においても非常に大切である理由。前半は学んだパントマイのテクニックを使って簡単な起承転結のある作品を作る。後半はテーマを決めて、自分だけのオリジナル作品を作る。作品を作ることで、作品のテーマを見つけ出す力を高め、自分はその作品の中で、どう役を演じれば良いかを逆算して考える力を学んでもらう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. テクニックの復習「空間の固定」と「棒を扱う」 2. テクニックの復習「無対象のかべ」「ドアを開ける」「かべを越える」 3. テクニックの復習「無対象のふうせん」「無対象のつなひき」「マイムウォーク」 4. 学んだテクニックを使って簡単な起承転結のある作品を作る 5. 作った作品をお互いに見せ合い評価する 6. テーマを決めて作品を考える 7. テーマのある作品の作り方 8. 作った作品を先生に見てもらって手直りする 9. 作品作り 10. 作品作り 11. 作品作り 12. 作品作り 13. 作品作り 14. 作品発表 15. 舞台表現とは、身体表現とは、パントマイとは、芸術とは、語る。 								
評価方法	授業出席数と授業態度/表現力								
テキスト・参考書等	無し								
備考	ジャージなど動きやすい服装。足元は靴下もしくは裸足、バレエシューズもOK。								

科目名	日本舞踊								
担当教員	春日 鶴愛								
講師紹介	日本舞踊春日流師範／本校在学中に日本舞踊春日流に入門。春日鶴壽氏に師事。97年名取免許取得、04年師範免許取得。長唄は杵屋弥之智代に師事。担当教員は日舞の実務経験を活かし、基礎から応用まで日本舞踊の指導が可能である。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣の着付けと帯結びを覚える。和服を着て動くことに慣れる。 ・舞扇を扱えるようにする。短い曲をひとりで踊れるようになる。見取り稽古を身に付ける。 								
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本舞踊を通して、礼儀作法、所作、着付を身に付けていただきます。 ・日本舞踊の基本的な型をいくつか学んでいただいたら、短い曲を踊れるように指導していきます。小道具(主に舞扇)を用いて表現の幅を広げていきます。 ・人前で踊ることにより、舞台感覚を学び、表現することを楽しめるようにしていきます。 								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、舞扇の持ち方、開き方、基本の立ち方、座り方、礼 2. 舞扇を使った基本運動①「さくら さくら」 3. 舞扇を使った基本運動②「さくら さくら」 4. 舞扇を使った基本運動③「さくら さくら」 5. 浴衣の着付けと帯結び、浴衣のたたみ方 6. 舞扇を使った基本運動④「さくら さくら」 7. テスト課題曲 振り写し① 8. テスト課題曲 振り写し② 9. テスト課題曲 振り写し③ 10. テスト課題曲 振り写し④ 11. テスト課題曲 プレテスト 12. テスト課題曲 躍り込み① 13. テスト課題曲 躍り込み② 14. テスト課題曲 躍り込み③ 15. 実技テスト 								
評価方法	実技テスト/着付け技術								
テキスト・参考書等	舞扇								
備考	着物(浴衣)、帯(男子は角帯、女子は反幅帯)、腰紐、足袋、舞扇を用意していただきます。								

科目名	TV演技								
担当教員	江上 真悟								
講師紹介	俳優／文学座附属演劇研究所を経て、映画「鍵」でデビュー。「SP」「相棒」他多数のドラマに出演。美輪明宏演出・主演作品の舞台にも定期的に出演している。現代書道家。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	・自由自在な表現力向上								
授業概要	舞台上で求められる演技とカメラを前にした演技では必要とされるものが異なります。この授業では映像用の撮影機材を使用して、映像の芝居で求められる演技を意識して学びます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. レッスンの内容説明 2. TVドラマの制作過程、TVドラマの台本説明、そのシーンの鑑賞 3. 脚本配布、キャスティング、読み合わせ等 4. 脚本レッスン 1 5. 脚本レッスン 2 6. 脚本レッスン 3 7. 脚本レッスン 4 8. 脚本レッスン 5 9. 脚本レッスン 6 10. 脚本レッスン 7 11. 脚本レッスン 8 12. 脚本レッスン 9 13. 撮影・収録 14. 撮影・収録 15. 収録作品の鑑賞 まとめ 								
評価方法	平常点 授業中の積極的な姿勢								
テキスト・参考書等	オリジナル台本								
備考	特になし								

科目名	TV演技								
担当教員	下出 丞一								
講師紹介	FREE(S)代表取締役。数多くの俳優を育成・マネージメントを経験。舞台「新選組異聞PEACE MAKER」等毎年10本以上の脚本・演出・プロデュースを手掛ける。担当教員は俳優経験を活かし舞台のプロデューサーも手がけてきた。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	実際の撮影現場でも活用できるカメラ前での演技の修得。								
授業概要	カメラ前での映像演技のノウハウを学び、又、最低限のカメラワークの知識を知り、現場に出た時スムーズに演技が出来るようにする為に必要な授業内容です。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映像と舞台の演技表現の違いの講義 2. 物を使う映像表現① 3. 物を使う映像表現② 4. 映像でのキャラクター表現① 5. 映像でのキャラクター表現② 6. 映像での目的表現① 7. 映像での目的表現② 8. 映像演技の総合表現① 9. 映像演技の総合表現② 10. カメラワークを考える 11. カメラワーク実践演技 12. 1カットのテーマ 13. 撮影本番体験① 14. 撮影本番体験② 15. 試写会 								
評価方法	授業出席率/授業内での実践映像演技								
テキスト・参考書等	TVドラマ・映画台本/演技教本冊子								
備考	映像に撮られる意識を持つ為に髪型やメイクなどに気を配ること。								

科目名	映像演技基礎Ⅰ								
担当教員	杉崎 真宏								
講師紹介	俳優／ワタナベエンターテインメント所属、「アクション」でデビュー。近年エンタメユニット「WANTED」を創立。「あ、安部礼司(刈谷勇)」、「HHP」他多数出演。担当教員は数多くの舞台等の出演経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	前期
到達目標	カメラの前での演技の手法・表現・基礎を学ぶ。								
授業概要	<p>演技の基礎でもある反応を大切に、前半は、人に慣れ、環境に慣れ、役に向かう上での自己解放を意識付けさせ、準備段階の大切さを伝えます。その上で、自分の個性とも向き合わせ、自分にしか出来ない演技・オリジナルの追及も目指します。</p> <p>後半は、リハーサル、本番というリズムの中で、ベストな演技が出来るようにスピードを経験させます。積極性なくして、技術の向上、メンタルの向上にはつながらないので、常に前向きな雰囲気を中心掛け、1つ1つの成長を目指します。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、自己紹介 2. TVドラマ現場での用語解説、自己解放 3. 感情表現、喜怒哀楽 4. エチュード 5. 台本読み/キャスト決め 6. 台本読み/役作り 7. ①シーン撮影 リハーサル 8. ①シーン撮影 本番 9. ②シーン撮影 リハーサル 10. ②シーン撮影 本番 11. ③シーン撮影 リハーサル 12. ③シーン撮影 本番 13. ④シーン撮影 リハーサル 14. ④シーン撮影 本番 15. 前期まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、毎回チャレンジしてくる気持ち								
テキスト・参考書等	台本はその都度配布								
備考	自分の教科書を作ってほしいので、筆記用具を持参								

科目名	映像演技基礎Ⅱ								
担当教員	杉崎 真宏								
講師紹介	俳優／ワタナベエンターテインメント所属、「アクション」でデビュー。近年エンタメユニット「WANTED」を創立。「あ、安部礼司(刈谷勇)」、「HHP」他多数出演。担当教員は数多くの舞台等の出演経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロの俳優・女優の心構え ・個人の個性の向上 ・映像演技への慣れ 								
授業概要	<p>カメラの前で演技を追求する姿勢を大切に、その緊張感に慣れ、本番で一番良いものを出すという事を目指します。その上でチェックを重ねる事で、自分の声、身体、表現を客観的に見る目を養いつつ、個性と役へのアプローチをアドバイスしていきます。演じるその先に、見ている側へ届けられているか？を中心に、撮影の順番でなくても、周りの演技を見て、自分の演技に活かせるよう、雰囲気作りをしていきます。その経験を積み、何か1つでも自信を持ってもらえるよう努めます。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、後期の指針 2. 本読み/キャスト決め 3. リハーサル 4. シーン撮影① 5. シーン撮影② 6. シーン撮影③ 7. 本読み/キャスト決め 8. リハーサル 9. シーン撮影① 10. シーン撮影② 11. シーン撮影③ 12. 本読み/キャスト決め 13. シーン撮影① 14. シーン撮影② 15. シーン撮影③ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、高い向上心と、役に取り組む姿勢								
テキスト・参考書等	台本はその都度配布								
備考	撮影を進めていく中で、スタッフワークも積極的に参加する事により、演技をいろんな角度から見る努力もしま								

科目名	舞台演技基礎 I								
担当教員	下出 丞一								
講師紹介	FREE(S)代表取締役。数多くの俳優を育成・マネージメントを経験。舞台「新選組異聞PEACE MAKER」等毎年10本以上の脚本・演出・プロデュースを手掛ける。担当教員は俳優経験を活かし舞台のプロデューサーも手がけてきた。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	前期
到達目標	基本的な舞台演技や舞台用語・システムを学び、最終的に進級公演にて舞台上で演じられること。								
授業概要	舞台演技とは映像の演技と違い目の前にいる観客を対象にしており、その観客にどう喜怒哀楽を表現し感動して頂くかです。表現を大きくする為に、内面を大きく持つことが大事と考え、この授業では内から出る感情表現をどうやって増幅させるかの方法を丁寧に学んでいきます。また1つの作品を作るには、チームワークもとても大切です。相手の気持ちを感じることも、そういった点もこの授業では学んでいきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 舞台演技ウォーミングアップ法(シアターゲーム) 2. 感情表現① 3. 感情表現② 4. 舞台演技(リアクション)① 5. 舞台演技(リアクション)② 6. 舞台演技(コミュニケーション)① 7. 舞台演技(コミュニケーション)② 8. 感情表現<動> 9. 感情表現<静> 10. 舞台演技(客観性) 11. 舞台演技(総合) 12. 舞台演技(アクシデント) 13. 脚本の読み方 14. 役作り 15. 総合演技 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	舞台脚本を適時配布								
備考	動きやすい服装で受けて下さい。								

科目名	舞台演技基礎Ⅰ								
担当教員	田上 ひろし								
講師紹介	俳優／劇団スーパーエッセントリックシアター創立メンバー。「出社が楽しい経済学」「相棒」他多数出演。ラジオ「サンデーヒットパラダイス」は25年目に突入。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	前期
到達目標	舞台表現における俳優のあり方を考え、作品の中での役への取りくみ方の基本的な考え方・身体表現の基礎を身につける。								
授業概要	舞台表現とは作品を通して観客と、そして演出家や俳優達とコミュニケーションをする行為である。その為に必要な、自己の解放、身体解放、台本及び役への読解力をつける為の基礎技術を習得する。アインレーション、イマジネーション、及びインプロビゼーション等のトレーニングも同時に体得し、力強くしなやかな表現の第一歩を踏み出せるようにする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顔合わせ、自己紹介、ガイダンス 2. 演技のルーツを学ぶ。シアターゲーム 3. シアターゲーム、基礎トレーニング 4. 喜怒哀楽、解放、発声 5. エチュード演技①、身体解放 6. エチュード演技②、身体解放 7. エチュード演技③、身体解放 8. 台本を読む、役の人物を探る 9. 台本を読む、役の人物を創る 10. 台本を読む、役の人物を演じてみる 11. 舞台演技、古典を知る① 12. 舞台演技、古典を知る② 13. 舞台演技、現代劇① 14. 舞台演技、現代劇② 15. 前期総合発表 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／授業の理解／成果発表								
テキスト・参考書等	エチュード、舞台脚本を適宜配布								
備考	ジャージ等の動きやすい服装で参加すること。								

科目名	舞台演技基礎Ⅱ								
担当教員	下出 丞一								
講師紹介	FREE(S)代表取締役。数多くの俳優を育成・マネージメントを経験。舞台「新選組異聞PEACE MAKER」等毎年10本以上の脚本・演出・プロデュースを手掛ける。担当教員は俳優経験を活かし舞台のプロデューサーも手がけてきた。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	・舞台演技の基礎を学び、芝居のノウハウを習得し、舞台に立てる技術を持つようにする。								
授業概要	舞台演技の基礎、感情表現を中心に学び、そこからキャラクター作りや台本の読み方まで学びます。 また、舞台上で使う専門用語なども学びます。 授業では、新旧公園で使用する台本を中心に、自分の配役されたキャラクターを深くとらえて、キャラクター作り、そして台本の深くまで読み込むように教えていきます。同時に小道具集めや衣装合わせなども行い、自分の役を立たせてくれる周りのものを大切に扱う重要性も学びます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発表会・作品作りの方針説明 2. 舞台での基本的用語説明 3. 小道具などの演技上での使い方 4. 舞台芝居の空間の埋め方(アドリブ) 5. 演技の動きと感情の結びつき 6. 役づくり 7. 感情表現の見せ方 8. 立ち位置などの意味 9. 通し稽古の意味と稽古方法 10. 演技以外の舞台パフォーマンス(ダンスなど)① 11. 演技以外の舞台パフォーマンス(ダンスなど)② 12. 通し稽古① 13. 通し稽古② 14. 通し稽古③ 15. 通し稽古④ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	進級公演用の台本を配布								
備考	動きやすい服装を着用すること								

科目名	舞台演技基礎Ⅱ								
担当教員	田上 ひろし								
講師紹介	俳優／劇団スーパーエッセントリックシアター創立メンバー。「出社が楽しい経済学」「相棒」他多数出演。ラジオ「サンデーヒットパラダイス」は25年目に突入。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	俳優としての基礎訓練を通して、台本を読み役を創る能力アップをする。表現者としてのコミュニケーション力と常に考え努力を続けられる心の体力をつける。								
授業概要	稽古を通して、他の俳優の前で演じ伝えることの難しさを体感し、自意識からの解放を目標とする。舞台表現の基本と、固定観念からの脱却というどこか矛盾している問いの答えを見つける。吸収と放出のくり返しを重ね、独創性や想像性、発想力を求められるレッスンから、身体と心の解放を体得し、俳優力を高めていく。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最終発表会の説明、作品発表 2. 舞台作りの仕事について(スタッフワーク含む) 3. 台本本読、ストーリーについての考察／基礎 4. 台本本読、キャラクターについての考察／基礎 5. 台本本読／基礎訓練、発声 6. 台本からの抜粋によるエチュード／基礎① 7. 台本からの抜粋によるエチュード／基礎② 8. 台本からの抜粋によるエチュード／基礎③ 9. 各シーンごとの組立て／基礎練習① 10. 各シーンごとの組立て／基礎練習② 11. 各シーンごとの組立て／小返し稽古 12. 通し稽古／基礎練習、発声① 13. 通し稽古／基礎練習、発声② 14. 通し稽古／基礎練習、発声③ 15. 作品発表／振り返り 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／授業の理解／成果発表								
テキスト・参考書等	初回から台本を渡します。								
備考	基本ジャージ等ですが、役によって役柄に合った服等を用意する場合があります。								

科目名	発声発音 I								
担当教員	長岡 公子								
講師紹介	フリーアナウンサー／TBS・ラジオ日本・ジャパンFMネットワーク等でパーソナリティー・キャスターを担当。担当教員はヴォイストレーナーとして数多くの俳優・タレント・アナウンサーを育成した実績を有する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	喉に負担をかけず声を鍛える発声方法を身につける 音に対する感覚を研ぎ澄まし、音を聴き分けられるようにする								
授業概要	声を鍛える為、毎回、1人ずつ声をチェックしながら、発声練習をしていきます。はじめは、腹式呼吸、そして口の開き方、唇の使い方、舌の位置等も確認していきます。大勢の前で大きな声を出す事を、初めは難しいと感じる人も、何回も繰り返す事で、自信を持って大きな声を出せるようにしていきます。又、他の人が発声をしている時にも音を良く聴き、音を聴き分ける耳を育てていきます。 前期の終わりには、自分の声に変化した、と感じてもらえたら良いと思います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、受講者の自己紹介 2. 発声の基礎練習①腹式呼吸、口の開き方 3. 発声の基礎練習②アエイウエオアオ 4. 発声の基礎練習③アエイウエオアオ(1人ずつチェック) 5. 発声の基礎練習④息を長く使ってアイウエオ… 6. 発声の基礎練習⑤アイウエオ、イウエオア(1人ずつチェック) 7. 言葉を使っての発声練習①ジャックのたてた家 8. 言葉を使っての発声練習②ジャックのたてた家(1人ずつチェック) 9. 言葉を使っての発声練習③ジャックのたてた家(発表) 10. 外郎売を使っての発声練習① 11. 外郎売を使っての発声練習② 12. 外郎売を使っての発声練習③ 13. 外郎売を使っての発声練習①(1人ずつチェック) 14. 外郎売を使っての発声練習②(1人ずつチェック) 15. 1人ずつ発表、授業のまとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、試験								
テキスト・参考書等	演技教本、初回に使用するプリントを配布								
備考	動きやすい服装、口形をチェックできる手鏡を持参すること。 声を出すので、水分も持参すること。								

科目名	発声発音Ⅱ								
担当教員	服部 恭子								
講師紹介	フリーアナウンサー・リポーター／地元のCBCテレビ「土曜9じ半只今参上」でデビュー。名古屋テレビ・FM愛知等週6本のレギュラーを担当。担当教員はフリーアナウンサー・リポーターとして数々の報道番組を担当。この実務経験を活かして本講座の指導にあたる。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	無理のない本来の本人の声をみつけ、その声を腹式で出せる様にする。さらに本人の声を磨き、「ツヤ」のあるしっかりした声で正しい発音、滑舌で話せるようになる。								
授業概要	表現者として台詞は明確にかつ劇場の一番後ろまで届く声量は不可欠です。そのために正しい口のあけ方と、どれだけしゃべっていても全く声が枯れない腹式発声法でなければいけません。そして何より本来の自分の声をみつけてそれを磨き、オンリーワンのプロを目指します。腹式発声法を様々な方法で体得する事に重点を置き、さらに滑舌を良くするために口の中の筋肉を鍛えます。声だけ演技できるように声の高低、発声の硬軟を使い分け表現の幅を広げるテクニックを伝授します。学生が自分の声に自信を持てる事が重要です。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、受講者パーソナルチェック 2. 基礎Ⅰ(発声)正しい姿勢、腹式呼吸 3. 基礎Ⅰ(発声)気道のあけ方、口のあけ方 4. 基礎Ⅰ(発音)50音、鼻濁音、無声音 5. 基礎Ⅱ(発音)抑音、促音、長音、撥音 6. 基礎Ⅲアクセント、イントネーション 7. 基礎Ⅲプロミネンス、ポーズ、チェンジオブペース 8. 表現法→声の高低、硬軟 9. 基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ→総ざらいチェック 10. 応用…文章読み(エッセイ) 11. 滑舌・表現…外郎売 12. 滑舌…外郎売 13. 総ざらい、仕上げ…外郎売 14. 各々のパーソナルチェック、今後のアドバイス 15. テスト…文章読み(エッセイ) 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)、成果発表、試験、毎回の本人の努力と成長を重視します。								
テキスト・参考書等	教材はその都度、必要に応じて配布+演技教本								
備考	声を出すための簡単な体操もあるので、パンツスタイルで上はTシャツなど動きやすい服装で。アクセント辞典があればベストだが、なければ代わる物を準備。								

科目名	感情表現								
担当教員	永田 耕一								
講師紹介	俳優／文学座研究所卒。劇団青俳を経て、劇団スーパーエッセントリックシアターの旗揚げに参加。舞台やテレビドラマ、ラジオ、CM等に多数出演している。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	喜怒哀楽を最大限まで表現できるようにする。								
授業概要	日常の中から、喜怒哀楽の表現につながる所をイメージして、思い切り人前で表現してもらいます。感情を最大限で表現すると台詞を忘れてしまったりするので、冷静と興奮をコントロール出来るようになります。その後は、応用編として、喜怒哀楽の表現が入った芝居を創って、実践として発表会をやります。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介を感情表現を入れて表現する 2. 喜びを表現する(大学合格) 3. 怒りを表現する(友人とケンカ) 4. 悲しみを表現する(ペットの死) 5. 台詞で喜びを伝える 6. 台詞で怒りを伝える 7. 台詞で悲しみを伝える 8. 自分で喜びのシチュエーションを考え、表現 9. 自分で怒りのシチュエーションを考え、表現 10. 自分で悲しみのシチュエーションを考え、表現 11. 1班5人で数班作ってストーリーを考える 12. 1班5人で数班作って立ち稽古をする 13. 1班5人で数班作って台本を創る 14. 15分の芝居の台本を作って、発表する 15. 中間発表 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席を含む)、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	台本はその都度配布								
備考									

科目名	学園行事Ⅰ								
担当教員	船場吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・社会性。一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿1日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 2. クラス合宿2日目／アドバイザー企画のイベント、面接他 3. 東放学園合同運動会／エントリー種目、全員参加種目他 4. スポーツ大会／クラス対抗ドッチボール参加、他 5. 学園祭①／クラス・クラブ、有志団体参加他 6. 学園祭②／クラス・クラブ、有志団体参加他 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	芸術鑑賞Ⅰ								
担当教員	船場吉行他(クラスアドバイザー、教員)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	1年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの華やかなパフォーマンスに刺激を受け授業の糧にする。 ・実際の舞台上で演じる役者のセリフや動き見て、授業等の課題について考えることができる。 ・進路先選びの参考になる 								
授業概要	<p>専門分野の知識・見識を高めるためにプロのパフォーマンスを鑑賞することは重要なことである。芸術鑑賞は該当する学科が学年に応じてテーマを持ち、将来進むエンターテインメント業界の仕事を垣間見る機会をつくる。世間の誰もが知る劇団や評判の高いプロデュース公演、大小様々劇場や美術、場内アナウンスに至るまですべてを吸収して刺激を受けよう。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞作品(1)タイトル未定／作品については劇団、主催等が提案する年次の公演一覧から担当者目的に応じて、作品のテーマ・演出家・出演者等から選ぶ 2. 鑑賞作品(2)タイトル未定／上記に同じ 3. 鑑賞作品(3)タイトル未定／上記に同じ 4. 鑑賞作品(4)タイトル未定／上記に同じ 								
評価方法	参加当日の平常点と鑑賞後のレポートを重視								
テキスト・参考書等	レポート用紙(個人で用意)								
備考	観劇中のマナーは要注意								

科目名	アクション演習								
担当教員	二家本 辰巳								
講師紹介	殺陣師／山口県生まれ。1971年上京、ジャパンアクションクラブ(現JAE)入団。ウルトラマンシリーズでは「レオ」として活躍。1986年故松田優作主演・監督作品「ア・ホームズ」で殺陣師としてデビュー。近年では一連の北野武監督作品、TV「相棒」シリーズなどの殺陣を担当。1989年にはアクション俳優事務所「アーバンアクターズ」を設立。								
開講年次	1年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	アクションの基礎的な動きを覚える。演じる気持ちの動きが、アクションである事を感じられるようになる。								
授業概要	演じる気持ち(感情の動き)の中から生まれてくる動きが、アクションであるという事を、少しでも感じられるように授業をすすめます。芝居を考えつつ、実際の動きができるようになるために、基礎的な技術を時間の限り体得しましょう。授業中は、ケガの危険もある内容になりますので、集中し、講師の指導をしっかり確認、理解して動いてください。基本の動きは、授業時間だけではなく、復習して身につけてください。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクション演習を受講する心得 2. 殴りのアクションとリアクションの練習 3. " 2 4. " 3 5. 蹴りのアクションとリアクションの練習 6. " 2 7. " 3 8. 殴り、蹴りのアクションとリアクションの練習 9. " 2 10. " 3 11. これまでの基礎をもとに実際のたちまわりの練習 12. " 2 13. " 3 14. " 4 15. まとめ 								
評価方法	予習・復習の積み重ねがみえるかを重視								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	ジャージや動きやすい服装、上履きを持参すること								

科目名	映画鑑賞								
担当教員	まつかわ ゆま								
講師紹介	シネマアナリスト／女性編集部を経て、雑誌・各種メディアで映画を紹介・解説・批評している。FM川口のパーソナリティ。著書に「シネマでごちそうさま」等がある。担当教員はシネマアナリストとして映画に造詣が深く、本講座はこの実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	講義	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	様々な時代のスターに触れ、その演技を鑑賞し、特徴を自分の演技の参考にすることを学ぶ。								
授業概要	俳優はいかにしてスターになるのか。時代の要請、すなわち観客の夢の鏡像としてのスターを、各時代を代表する作品から読み解いてゆく。名作映画も、俳優も、スターも、歴史の積み重ねの中から生まれていくもの。「現在の日本の」俳優と演技だけを手本として学ぶだけではなく、世界の、120年の映画史の中から、俳優と演技に触れてほしい。そのためには、まず、見ること。それぞれの作品について、なぜその作品が名作になり、その俳優がスターであったのかを解説していきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、映画の誕生から「俳優」の誕生まで、「初期映画」 2. サイレント映画の俳優たち、「古典的ハリウッド映画」の手法の完成 3. トーキーの始まり、スタジオシステムとスターシステム ハリウッドの場合 4. トーキーの始まり、スタジオシステムとスターシステム 日本の場合 5. 戦争と映画と映画スター 6. 戦後の映画スター ハリウッドの場合 男優編 7. 戦後の映画スター ハリウッドの場合 女優編 8. 戦後の映画スター 日本の場合 9. 戦後の映画スター 青春映画の始まり 10. 1960年代のスター ハリウッドの場合 11. 1960年代のスター 日本の場合 12. 1960年代のスター ヨーロッパの場合 13. 「新しい映画」の時代 スターシステムの終わりと映画スター 14. 「ニューハリウッド」時代の始まり スター不在のSFX映画 15. 映画の力、スターの力 映画に出来ることとはなにか バリアフリーと映画 								
評価方法	授業の出席率/毎回鑑賞する映画の感想コメントを提出/最終課題レポート								
テキスト・参考書等	作品ごとにその背景や見どころ、俳優のフィルモグラフィやバイオグラフィなどをレジュメにして配布します。								
備考	映画とは、暗闇の中、大勢の他人と共にスクリーンに映写される映像を見る行為です。出来るだけ映画館で見るようにして下さい。新・旧、アニメ・実写、邦画・洋画、シネコン・ミニシアターなど、様々な作品に触れましょう。難しければDVDや配信でも構いません。								

科目名	公演・制作演習								
担当教員	今泉 厚								
講師紹介	俳優／円研究所出身。歌舞伎座等の古典からマジックカンパニーでの全国巡業、海外公演、ミュージカル、映像作品等多岐にわたり出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	144時間	開講時期	後期
到達目標	①作品の完成過程で達成感を得て、課題に気付く ②劇場を使用する際の注意を覚える ③共同作業におけるコミュニケーションの大切さを知る								
授業概要	今まで学んだ表現の力を実践形式で試すため、外部の劇場を使用して1つの作品を完成させる。この卒業公演を通して学生が日頃からどのような状況に置いても自身を失わず演技力を発揮出来る機会を設ける。また作品制作には共同作業が欠かせないことに気が付かせ、人との関係性や自己の責任を自覚させることで作品制作の達成感を得させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 舞台公演集中稽古①/小道具・衣装制作他 2. 舞台公演集中稽古②/小道具・衣装制作他 3. 舞台公演集中稽古③/小道具・衣装制作他 4. 舞台公演集中稽古④/小道具・衣装制作他 5. 舞台公演集中稽古⑤/小道具・衣装制作他 6. 舞台公演集中稽古⑥/小道具・衣装制作他 7. 舞台公演集中稽古⑦/小道具・衣装制作他 8. 舞台公演集中稽古⑧/小道具・衣装制作他 9. 舞台公演通し稽古① 10. 舞台公演通し稽古② 11. 劇場入り舞台設営 12. 舞台公演リハーサル/フィードバック 13. 舞台公演本番(マチネ/ソワレ)/撤収作業 14. 大道具解体作業、衣装小道具直し他 15. 振り返り/総まとめ 								
評価方法	連動する舞台公演ゼミの評価と総合的に考慮して判断していきます。								
テキスト・参考書等	公演用課題台本1作品								
備考									

科目名	公演・制作演習								
担当教員	加藤 忠可								
講師紹介	俳優／劇団ショーマ創立に参加、退団後フリー。二兎社・プラチナペーパーズ・流山児事務所・SETなどプロデュース公演他、メディアに多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	144時間	開講時期	後期
到達目標	①作品の完成過程で達成感を得て、課題に気付く ②劇場を使用する際の注意を覚える ③共同作業におけるコミュニケーションの大切さを知る								
授業概要	今まで学んだ表現の力を実践形式で試すため、外部の劇場を使用して1つの作品を完成させる。この卒業公演を通して学生が日頃からどのような状況に置いても自身を失わず演技力を発揮出来る機会を設ける。また作品制作には共同作業が欠かせないことに気が付かせ、人との関係性や自己の責任を自覚させることで作品制作の達成感を得させる。								
授業計画	1. 舞台公演集中稽古①/小道具・衣装制作他 2. 舞台公演集中稽古②/小道具・衣装制作他 3. 舞台公演集中稽古③/小道具・衣装制作他 4. 舞台公演集中稽古④/小道具・衣装制作他 5. 舞台公演集中稽古⑤/小道具・衣装制作他 6. 舞台公演集中稽古⑥/小道具・衣装制作他 7. 舞台公演集中稽古⑦/小道具・衣装制作他 8. 舞台公演集中稽古⑧/小道具・衣装制作他 9. 舞台公演通し稽古① 10. 舞台公演通し稽古② 11. 劇場入り舞台設営 12. 舞台公演リハーサル/フィードバック 13. 舞台公演本番(マチネ/ソワレ)/撤収作業 14. 大道具解体作業、衣装小道具直し他 15. 振り返り/総まとめ								
評価方法	連動する舞台公演ゼミの評価と総合的に考慮して判断していきます。								
テキスト・参考書等	公演用課題台本1作品								
備考									

科目名	公演・制作演習								
担当教員	富田 稔英								
講師紹介	演出家／劇団文学座所属。ニールサイモン、シェークスピア等の翻訳劇を始め、自作劇やミュージカルに至る迄幅広い演出を手掛ける。担当教員は演出家として様々な舞台公演を手掛けた実務経験を活かして指導に当たる。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	144時間	開講時期	後期
到達目標	①作品の完成過程で達成感を得て、課題に気付く ②劇場を使用する際の注意を覚える ③共同作業におけるコミュニケーションの大切さを知る								
授業概要	今まで学んだ表現の力を実践形式で試すため、外部の劇場を使用して1つの作品を完成させる。この卒業公演を通して学生が日頃からどのような状況に置いても自身を失わず演技力を発揮出来る機会を設ける。また作品制作には共同作業が欠かせないことに気が付かせ、人との関係性や自己の責任を自覚させることで作品制作の達成感を得させる。								
授業計画	1. 舞台公演集中稽古①/小道具・衣装制作他 2. 舞台公演集中稽古②/小道具・衣装制作他 3. 舞台公演集中稽古③/小道具・衣装制作他 4. 舞台公演集中稽古④/小道具・衣装制作他 5. 舞台公演集中稽古⑤/小道具・衣装制作他 6. 舞台公演集中稽古⑥/小道具・衣装制作他 7. 舞台公演集中稽古⑦/小道具・衣装制作他 8. 舞台公演集中稽古⑧/小道具・衣装制作他 9. 舞台公演通し稽古① 10. 舞台公演通し稽古② 11. 劇場入り舞台設営 12. 舞台公演リハーサル/フィードバック 13. 舞台公演本番(マチネ/ソワレ)/撤収作業 14. 大道具解体作業、衣装小道具直し他 15. 振り返り/総まとめ								
評価方法	連動する舞台公演ゼミの評価と総合的に考慮して判断していきます。								
テキスト・参考書等	公演用課題台本1作品								
備考									

科目名	舞台公演ゼミ I								
担当教員	今泉 厚								
講師紹介	俳優／円研究所出身。歌舞伎座等の古典からマジックカンパニーでの全国巡業、海外公演、ミュージカル、映像作品等多岐にわたり出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	180時間	開講時期	前期
到達目標	1年次～2年次と各授業で修得した表現スキル、特技や個性を認識し更に高める。それを実践的な戯曲教室発表や外部での卒業公演で生かし、発揮出来る表現者を目標とする。								
授業概要	前期の前半の期間では1年次での基礎訓練が各項目に渡って確りと身に付いているかを個々に応じて点検し、復習や反復練習により長所や得意分野は更に伸ばし弱点は克服していきます。中盤期に向けては、平行してコミュニケーションスキルを上げる為のエチュードやインプロ、実践的な戯曲やシナリオ等(抜粋も含み)を用いてグループワークを行います。そして可能な範囲で2班程にチームを分け、舞台作品の公開教室発表を行います。最終の2～3週は後期の卒業公演に向けた作品を決定し夏休み中の自主練含む準備授業を行う。								
授業計画	1.	a.授業ガイダンス、b.自己紹介	16.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲⑥					
	2.	a.身体・発声の基礎訓練、b.交流のゲーム	17.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲⑦抜き、荒立ち					
	3.	a.身体・発声の基礎訓練、b.一人芝居①、c.シアターゲーム	18.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲⑧抜き、空間使い					
	4.	a.身体・発声の基礎訓練、b.一人芝居②、c.シアターゲーム	19.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲⑨通し、音響入り					
	5.	a.身体・発声の基礎訓練、b.複数名芝居 I ①、c.シアターゲーム	20.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲⑩通し、音響入り					
	6.	a.身体・発声の基礎訓練、b.複数名芝居 I ②、c.エチュード	21.	a.アンサンブル戯曲⑪通し、全演出効果入					
	7.	a.身体・発声の基礎訓練、b.複数名芝居 II ①、c.エチュード	22.	a.アンサンブル戯曲⑫通し、全演出効果入					
	8.	a.身体・発声の基礎訓練、b.複数名芝居 II ②	23.	a.アンサンブル戯曲⑬A班、公開教室発表					
	9.	a.身体・発声の基礎訓練、b.複数名芝居 II ③	24.	a.アンサンブル戯曲⑭B班、公開教室発表					
	10.	a.身体・発声の基礎訓練、b.複数名芝居 II ④発表	25.	a.卒業公演に向けて①作品発表と意図					
	11.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲①読み合わせ	26.	a.卒業公演に向けて②台本製作と読み合わせ					
	12.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲②読み合わせ	27.	a.卒業公演に向けて③読み合わせ					
	13.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲③班分け、キャスティング	28.	a.卒業公演に向けて④読み合わせ、班分け、キャスティング(仮)					
	14.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲④スタッフワーク決め	29.	a.卒業公演に向けて⑤荒立ち					
	15.	a.身体・発声の基礎訓練、b.アンサンブル戯曲⑤抜き、荒立ち	30.	a.卒業公演に向けて⑥荒立ち、b.前期総括、C.夏休み課題					
評価方法	平常点、授業の理解、成果発表、その他(素質と努力、性格、向上心、体調管理能力も評価)。								
テキスト・参考書等	台詞・各課題のプリント、台本等は必要に応じて配布。								
備考	第一は体調管理を確り行い授業を休まない事。作品に向けた協調性を大切にしその為の労力を惜しまない事。班分けやキャスティングを素直に受け最善を尽くす事。								

科目名	舞台公演ゼミ I								
担当教員	加藤 忠可								
講師紹介	俳優／劇団ショーマ創立に参加、退団後フリー。二兎社・プラチナペーパーズ・流山児事務所・SETなどプロデュース公演他、メディアに多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	180時間	開講時期	前期
到達目標	舞台表現における伝えることの重要性を知る。そのために柔軟な思考力と豊かなイマジネーションを身につける。								
授業概要	固定的な演劇観や演技に対する考え方をエチュードなどの自由な課題を通して、再確認し表現の豊かさを探り戯曲において役を演じる時の幅をひろげる。観客に伝えるための基礎的な技術をテキストを用いることによって常に確認し向上をはかる。キャラクターとは何か感情表現とは何か身体性とは何かを実践的に演じてみることによって今一度自分なりの考えを深めていく。								
授業計画	1.	自己紹介など	16.	セリフにおける発声・口形の確認					
	2.	稽古場について	17.	セリフにおける身体性の確認					
	3.	準備としてのストレッチング・ウォームアップ	18.	セリフと身体のリズムの意識					
	4.	リラックス・アイソレーション	19.	ことばと身体の関係					
	5.	エチュード・シアターゲームで他者を知る	20.	ことばと身体の豊かさ					
	6.	エチュード・シアターゲームで他者を知る	21.	感情とことば					
	7.	エチュード・シアターゲームで他者を受け入れる	22.	感情と身体					
	8.	発声・口形の確認	23.	ことば・感情・身体の豊かさとは					
	9.	発声・口形のための訓練	24.	小返し稽古による演技の確認					
	10.	身体性への意識	25.	小返し稽古による役の確認					
	11.	身体性の豊かさとは	26.	役を演じることはを戯曲から考える					
	12.	身体性の訓練	27.	戯曲の解釈を考える					
	13.	リラックス再確認	28.	スタッフワークを具体化する					
	14.	アイソレーション再確認	29.	自分なりのフォームアップを作る					
	15.	戯曲を使ったテーブル稽古	30.	自分なりの訓練を作る					
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／授業の理解／成果発表／その他(積極性と協調性)								
テキスト・参考書等	既成台本								
備考	動きやすい服装と身体性をコントロール出来る靴(運動靴)								

科目名	舞台公演ゼミ I																																																											
担当教員	富田 稔英																																																											
講師紹介	演出家／劇団文学座所属。ニールサイモン、シェークスピア等の翻訳劇を始め、自作劇やミュージカルに至る迄幅広い演出を手掛ける。担当教員は演出家として様々な舞台公演を手掛けた実務経験を活かして指導に当たる。																																																											
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	180時間	開講時期	前期																																																			
到達目標	卒業公演での発表を目的とし、演技の基礎レッスンから上級レッスンへと進める。 開放、集中、協調等を経て、一本の台本を具現化し、メンバーの協力により卒業公演を行なう。																																																											
授業概要	舞台演技とは、限られた空間と限られた時間の中で最大限自分を見せることだ。最大限の自分とは、肉体的にも精神的にも現状の自分よりスキルアップできた状態だ。その状態を目指す為に、日々のレッスンの積み重ねがあるという事を忘れてはならない。一番確実なレベルアップの方法は弛み無い基本レッスンの繰り返しである。それを自覚し、実践できる人が「上手な俳優」「存在感のある俳優」として評価されるという事を忘れずに頑張る欲しい。																																																											
授業計画	1.	授業ガイダンス/自己紹介	16.	台本決定の為の本読み①	2.	エチュード:解放・集中①	17.	台本決定の為の本読み②	3.	エチュード:解放・集中②	18.	台本決定の為の本読み③	4.	エチュード:集中・対応①	19.	台本決定の為の本読み④	5.	エチュード:集中・対応②	20.	台本決定の為の本読み⑤	6.	エチュード:集中・対応・協調①	21.	卒業公演台本決定	7.	エチュード:集中・対応・協調②	22.	キャスティングの為の本読み①	8.	エチュード:集中・対応・協調③	23.	キャスティングの為の本読み②	9.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ①	24.	キャスティングの為の本読み③	10.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ②	25.	キャスティングの為の本読み④	11.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ③	26.	キャスティングの為の本読み⑤	12.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ④	27.	イメージメイクドラマ I 稽古①	13.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ⑤	28.	イメージメイクドラマ I 稽古②	14.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ⑥	29.	イメージメイクドラマ I G・P	15.	卒業公演台本選定・イメージメイクドラマ I ⑦	30.	イメージメイクドラマ I 発表/キャスティング決定
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)・成果発表・試験・課題・レポート																																																											
テキスト・参考書等	卒業公演候補台本のコピー																																																											
備考	理由のない欠席・遅刻・早退は認めない。健康に留意し、最後迄リタイアしないこと。 楽しみながらも自分に課題を持ってスキルアップするように。																																																											

科目名	舞台公演ゼミⅡ								
担当教員	今泉 厚								
講師紹介	俳優／円研究所出身。歌舞伎座等の古典からマジックカンパニーでの全国巡業、海外公演、ミュージカル、映像作品等多岐にわたり出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	180時間	開講時期	後期
到達目標	卒業公演に向けた稽古課程から、外部ホールでの本番を通して、実践的な演技力やキャラクターの作り方が学べる。								
授業概要	前期でのグループワークやアンサンブル芝居の教室発表の成果を踏まえて、個々の長所・短所を自覚してもらい、良き所は更に発展させ弱点は最小に克服出来るように方策や目標に取り組みます。後期の授業は卒業公演に向けた実践的な役づくりや舞台づくりが中心になります。そこで、上記個々の目標や課題については、稽古や本番に向けた授業課程に於て修練してもらいます。基礎力の維持・拡充の為の反復練習から、未知の経験や役づくりを通じた創造力や協調性も養いましょう。								
授業計画	1.	後期に向けてのガイダンスと卒公稽古	16.	卒業公演に向けての稽古・衣裳小道具確認					
	2.	卒業公演に向けての稽古・読み合わせ①	17.	卒業公演に向けての通し稽古①					
	3.	卒業公演に向けての稽古・読み合わせ②	18.	卒業公演に向けての通し稽古②					
	4.	卒業公演に向けての稽古・読み合わせ③	19.	卒業公演に向けての通し稽古③					
	5.	卒業公演に向けての稽古・抜き荒立ち稽古①	20.	卒業公演に向けての通し稽古④					
	6.	卒業公演に向けての稽古・抜き荒立ち稽古②	21.	卒業公演に向けての通し稽古⑤					
	7.	卒業公演に向けての稽古・抜き荒立ち稽古③	22.	卒業公演に向けての通し稽古⑥					
	8.	卒業公演に向けての稽古・抜き荒立ち稽古④	23.	卒公本番 映像鑑賞Aキャスト 反省会					
	9.	卒業公演に向けての稽古・衣裳合わせ・抜き荒立ち稽古⑤	24.	卒公本番 映像鑑賞Bキャスト 反省会					
	10.	卒業公演に向けての稽古・部分通し①	25.	各々の進路やその希望比率に応じた演習					
	11.	卒業公演に向けての稽古・部分通し②	26.	冬休み宿題「戯曲感想文」と抜粋発表					
	12.	卒業公演に向けての稽古・小道具点検・部分通し③	27.	冬休み宿題「戯曲感想文」と抜粋発表、状況により小作品演習					
	13.	卒業公演に向けての稽古・転換稽古・部分通し④	28.	俳優の為の確定申告講座、状況により小作品演習					
	14.	卒業公演に向けての稽古・部分通し⑤	29.	俳優の為の確定申告講座、発表の場合も					
	15.	卒業公演に向けての稽古・部分通し⑥	30.	授業しめくりと各自進路発表(任意)					
評価方法	平常店(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解、成果発表								
テキスト・参考書等	後期の中心教材は卒業公演の作品戯曲になります。								
備考	自分で考えて行動すること。授業・稽古準備を人任せにせず、自ら進んで行うこと。芝居作りに関しても指示待ちではなく演技プランを考えて自主練すること。								

科目名	舞台公演ゼミⅡ																																																											
担当教員	加藤 忠可																																																											
講師紹介	俳優／劇団ショーマ創立に参加、退団後フリー。二兎社・プラチナペーパーズ・流山児事務所・SETなどプロデュース公演他、メディアに多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。																																																											
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	180時間	開講時期	後期																																																			
到達目標	舞台表現における伝えることの重要性を知る。観客に対しパフォーマンスし、観客に伝わったことを知り、相乗効果の楽しさを知る。																																																											
授業概要	実際に観客の前で演じる舞台発表を前提とした芝居作りを通して準備するものを知ってゆく。そこにはスタッフワークも含まれている。それぞれの役割があって舞台が成立することを知る。俳優も俯瞰的な視野を持ち、芝居を作る構成メンバーがライバルでもあり、良き仲間でもあることを知り、交流を深め他者の価値観を共有して感性を広げ深める場とする。																																																											
授業計画	1.	ウォームアップの実践	16.	ことばと感情を伝える	2.	個々のウォームアップの確立	17.	身体性と感情の関係	3.	リラックスとアイソレーションの再確認	18.	空間の認識と意識	4.	戯曲解釈	19.	相手に対する意識	5.	演じるための技術とは	20.	発表を意識した小返し稽古	6.	演じるとは伝えること	21.	↓ (ミザンス・ことば・身体性・ 解釈などを試す)	7.	小返し稽古でセリフの正確さを考える	22.	伝えることを意識した小返し稽古	8.	小返し稽古でセリフの豊かさを考える	23.	伝えることの意識(ことば)チェック	9.	小返し稽古で身体性を考える	24.	伝えることの意識(身体性)チェック	10.	小返し稽古で身体性の豊かさを考える	25.	伝えることの意識(役割)チェック	11.	役割とは何かを考える	26.	通し稽古による全体のチェック	12.	キャラクターとは何かを考える	27.	発表	13.	セリフと身体性の関係	28.		14.	リラックス・アイソレーションの確認	29.		15.	ことばに対する意識	30.	
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)／授業の理解／成果発表／その他(積極性と協調性)																																																											
テキスト・参考書等	既成台本																																																											
備考	動きやすい服装と身体性をコントロール出来る靴(運動靴)																																																											

科目名	舞台公演ゼミⅡ								
担当教員	富田 稔英								
講師紹介	演出家／劇団文学座所属。ニールサイモン、シェークスピア等の翻訳劇を始め、自作劇やミュージカルに至る迄幅広い演出を手掛ける。担当教員は演出家として様々な舞台公演を手掛けた実務経験を活かして指導に当たる。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	実習	時間数	180時間	開講時期	後期
到達目標	卒業公演へ向けての立ち稽古、通し稽古を繰り返し行ない、より高度な演技術を身につけ、発表に至らせる。								
授業概要	とにかく日々のレッスンで確実に有意義な要素をつかみとっていけるような内容にしたい。卒業公演を目指してゆく中に於いて、基本を忘れずにより一層のスキルアップをつかみとれるように、台本の読解力の養成と役柄を的確に演じられるスキルを確かな手ごたえとして感じ取ってほしい。そして舞台芸術というものが、けっして一人の力で成立するものでなく、多くの人が助け合って作り上げてゆくのだという事を学んで欲しい。								
授業計画	1.	立ち稽古	1場	繰り返し	16.	立ち稽古	2幕	繰り返し④	
	2.	立ち稽古	1場	繰り返し②	17.	通し稽古①			
	3.	立ち稽古	1場	繰り返し③	18.	通し稽古②			
	4.	立ち稽古	1場	繰り返し④	19.	通し稽古③			
	5.	立ち稽古	1場	繰り返し⑤	20.	通し稽古④			
	6.	立ち稽古	1場	繰り返し⑥	21.	通し稽古⑤			
	7.	音楽合わせ／衣裳プラン①			22.	通し稽古⑥			
	8.	音楽合わせ／衣裳プラン②			23.	ゲネプロ、本番			
	9.	立ち稽古	1幕	繰り返し①	24.	総括・イメージドラマⅡ稽古①			
	10.	立ち稽古	1幕	繰り返し②	25.	イメージメイクドラマⅡ稽古②			
	11.	立ち稽古	2幕	繰り返し①	26.	イメージメイクドラマⅡ稽古③			
	12.	立ち稽古	2幕	繰り返し②	27.	イメージメイクドラマⅡ稽古④			
	13.	立ち稽古	1幕	繰り返し③	28.	イメージメイクドラマⅡ稽古⑤			
	14.	立ち稽古	1幕	繰り返し④	29.	イメージメイクドラマⅡ稽古⑥			
	15.	立ち稽古	2幕	繰り返し③	30.	イメージメイクドラマⅡ発表			
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)・成果発表・試験								
テキスト・参考書等	卒業公演台本及び資料								
備考	健康第一に留意し、リタイアすることなく、自分に厳しい課題を持って、他と協力し合い、卒業公演を成功させるように努力されたい。								

科目名	論文ゼミ								
担当教員	矢代 久美子								
講師紹介	東京アナウンス学院教員。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、小劇場演劇や各種イベントMC、結婚式の司会などに携わる。現在、声優・俳優を目指す学生のサポートを行っている。								
開講年次	2年次	必/選	必選	授業形態	講義	時間数	180時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の得意分野を見つけ、研究するテーマについての知識や見識を深める ・深く掘り下げる作業の中で、対象の捉え方や比較、抽出と云った思考が磨かれる 								
授業概要	学生自身が得意とする分野において研究テーマを見つけ、担当講師の助言を受けながら深く追求する。各自のテーマに沿って指導者が振り分けられ、担当者と二人三脚で書き進めていく。論文はデータ化して提出、手書きの場合はPDFに変換して提出する。授業時数の大半を自宅学習、資料集め、執筆活動に費やす。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 論文の書き方講座 1 3. 論文の書き方講座 2 4. 担当者の指導面談 5. 第一稿 提出時の指導 6. 第二稿 提出時の指導 7. 最終稿 提出時の指導 <p>※その他は指導者とのミーティング、学生自身の資料集め、執筆活動等の時間を換算する</p>								
評価方法	提出論文の内容によって判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	根気のいる作業となります。方向性に困った時は必ず相談すること								

科目名	映像制作実習a								
担当教員	加納 隼								
講師紹介	映画監督・映像ディレクター／映画、広告、ミュージックビデオ等、ジャンルを問わず活動する映像ディレクター。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	前期
到達目標	演技だけでなく脚本・演出・撮影・編集等、映像制作に関わる役割を実習を通して経験し、映像演技の理解を深める。								
授業概要	映像演技を実習を通して学びます。 役者としてだけでなく、脚本、撮影、編集等、制作スタッフの役割も学び、映像演技を多角的に捉えて理解を深めていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、自己紹介 2. 自己紹介ミーティング/ 脚本の書き方/ 課題: 第一課題脚本 3. 第一課題脚本選考、配役 4. 第一課題撮影実習 5. 第一課題編集実習/ 上映 6. 第二課題チーム分け 7. 第二課題作品上映 8. オーディション実習 9. 第三課題チーム分け/ ミーティング 10. 第三課題作品制作期間 11. 第三課題編集実習① 12. 第三課題編集実習② 13. 第三課題編集実習③ 14. 第三課題編集実習④ 15. 第三課題作品上映 								
評価方法	平常点、授業の理解度、成果発表								
テキスト・参考書等									
備考	映像制作作業は、授業時間外でも取り組む。								

科目名	映像制作実習b								
担当教員	加納 隼								
講師紹介	映画監督・映像ディレクター／映画、広告、ミュージックビデオ等、ジャンルを問わず活動する映像ディレクター。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	後期
到達目標	演技だけでなく脚本・演出・撮影・編集等、映像制作に関わる役割を実習を通して経験し、映像演技の理解を深める。								
授業概要	映像演技を実習を通して学びます。 役者としてだけでなく、脚本、撮影、編集等、制作スタッフの役割も学び、映像演技を多角的に捉えて理解を深めていきます。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス、自己紹介 2. 自己紹介ミーティング/ 脚本の書き方/ 課題: 第一課題脚本 3. 第一課題脚本選考、配役 4. 第一課題撮影実習 5. 第一課題編集実習/ 上映 6. 第二課題チーム分け 7. 第二課題作品上映 8. オーディション実習 9. 第三課題チーム分け/ ミーティング 10. 第三課題作品制作期間 11. 第三課題編集実習① 12. 第三課題編集実習② 13. 第三課題編集実習③ 14. 第三課題編集実習④ 15. 第三課題作品上映 								
評価方法	平常点、授業の理解度、成果発表								
テキスト・参考書等									
備考	映像制作作業は、授業時間外でも取り組む。								

科目名	演技科夏公b								
担当教員	加藤 忠可								
講師紹介	俳優／劇団ショーマ創立に参加、退団後フリー。二兎社・プラチナペーパーズ・流山児事務所・SETなどプロデュース公演他、メディアに多数出演。担当教員は数多くの舞台・TV出演の経験があり、俳優としての実務経験に基づいて授業を実施する。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	前期
到達目標	オーディションにより選ばれたキャストで、より実践的な劇創作と発表の場を通して、舞台における観客との関係の中で俳優のあり方を考えられるようにする。								
授業概要	経験値の違う一年生と二年生合同の劇創作を行うことで、お互いに刺激しあいながら俳優として教え、教わることや自分を客観的に見つめ直す機会にする。 オーディションで得た役を通じて配役とは何か、キャラクターとは何かを考え、他の役や作品にリスペクトをもって演じられるようにする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オーディション 2. 顔合せ/基礎トレーニング 3. 台本読み合わせ/基礎トレーニング 4. 台本読み合わせ/基礎トレーニング 5. 台本読み合わせ/基礎トレーニング 6. 立ち稽古/基礎トレーニング 7. 立ち稽古/基礎トレーニング 8. 立ち稽古/基礎トレーニング 9. 立ち稽古/基礎トレーニング 10. 立ち稽古/基礎トレーニング 11. 立ち稽古/基礎トレーニング 12. 立ち稽古/通し稽古/基礎トレーニング 13. 立ち稽古/通し稽古 14. 立ち稽古/通し稽古 15. 発表(本番) 								
評価方法	成果発表、基礎的な技術の習得が出来るか								
テキスト・参考書等	台本配布								
備考	動きやすい服装。立ち稽古に入ったら、自分がイメージする役の衣裳。持ち道具など。								

科目名	ヨガ・体幹トレーニングb								
担当教員	三和 由香利								
講師紹介	ヨガ世界大会ワールドチャンピオン・ヨガ・ピラティス講師／ヨガの世界大会にて日本人初のワールドチャンピオン受賞、ヨガパフォーマンス&レッスンでワールドツアー開催。担当教員はヨガの専門分野に長けている。本講座はこの実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	ヨガや体幹のトレーニングを通じて、心身ともにプロフェッショナルとしての意識を鍛える。								
授業概要	ヨガや体幹のトレーニングを通じて、柔軟性、筋力、バランスを整えると共に集中力や忍耐力を養う。また、ヨガの歴史や哲学を学び、さまざまな呼吸法を実践し、広い知識の構築を図る。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、ヨガの歴史 / バランスチェック、ヨガ・体幹の実践トレ 2. DVDに従ってトレーニング 3. ヨガ呼吸法(腹式呼吸・胸式呼吸) / 太陽礼拝の基本、ヨガ基礎・体幹トレ 4. ピラティスの歴史、ピラティス呼吸法インナーマッスル、 / コアトレーニング、ヨガ基礎、重力スイッチ 5. ピラティス呼吸法 / ピラティスマットエクササイズ(腹横筋・腹斜筋) 6. ヨガスートラより八支則について / 呼吸法、ピラティス(テーブルトップ、ブリッジ) / 体幹チェック(タイム計測) 7. ヨガ八支則クイズ、近代ヨガ・ホットヨガの歴史 / サンサルテーション、アーサナ、ハーフプランク宿題説明 8. 宿題チェック、7つの生命エネルギー、チャクラについて / ウッジヤイ呼吸法、スーリヤナマスカラで実践、ヨガ 9. 常温でホットヨガのオリジナルマット体験(前編)、 / カハラバーティ呼吸法、深いシャバアーサナ 10. 常温でホットヨガのオリジナルマット体験(後編)、 / 立位、座位、横臥位、全身アプローチ / 速いシャバアーサナ 11. 完全呼吸法、片鼻呼吸法、動物・植物など生命に特化したアーサナの実施「アニマルヨガ」 12. DVDに従ってトレーニング 13. 体幹トレーニング(腹横筋、腹斜筋を鍛えるハンドレット) / 太陽礼拝A&B、ヨガ、片鼻呼吸法、テストについて 14. ウォーミングアップ、太陽礼拝A&B/アドバンスポーズ/テスト(Cat&Cow→Down dog/Tree/Core training time) 15. ウォーミングアップ、太陽礼拝A&B/アドバンスポーズ/テスト(Cat&Cow→Down dog/Tree/Core training time) 								
評価方法	授業課題の取り組み / 出席率 / 成長レベル								
テキスト・参考書等	ヨガマット / DVD								
備考									

科目名	アクションプレイc								
担当教員	ジェイズプロデュース								
講師紹介	アクションチーム・TeamAZURA発足。新ジャンル「アクションプレイ」を確立を目指す。「戦国BASARA」「ダンガンロンパ」等のアクションを手掛ける。担当教員はアクションや殺陣師として多くの舞台を手掛けている。この実務経験を活かして本高座を担当する。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・殺陣やアクションの基本を身に付け今後の芝居の中で活かせるようになる。 ・場面や状況、芝居のテーマや目的に応じて殺陣やアクションの振る舞いに変化がつけられるようになる ・殺陣やアクションを通して演技を学ぶ 								
授業概要	<p>「剣殺陣の基礎」/「台詞・芝居を入れて殺陣」/「実際に1シーンを作る」 殺陣の基礎訓練と身体形成が主目的です。ストレッチ、筋力トレーニングや柔軟などを経て、体幹を鍛えたり役者としての基本の役作りをしていきます。最終目標として台詞を挟みながら立ち回りをしていきます。芝居とアクションが一体となる「アクションプレイ」を理解し実践できるようにします。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刀の振り方、リアクション、15手 / 千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 2. 刀の振り方、リアクション、15手、移動稽古、千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 3. 前回の復習 4. 前回の復習 / 1vs1(まいて斬る、刀を振り遅れて斬られる、芝居有) 5. 前回の復習 / 1vs1(少し手を難しく) 6. 前回の復習 / 1vs2(攻めのポジション両方) 7. 前回の復習 / 1vs2(全ポジション) 8. 前回の復習 / 和物の立ち回り① 9. 前回の復習 / 和物の立ち回り② 10. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り① 11. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り② 12. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(読み合わせ、殺陣作り) 13. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居指導、殺陣返し) 14. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居有、曲有) 15. 前回の復習 / 台本を使った殺陣(発表) 								
評価方法	授業課題の取り組み / 出席率								
テキスト・参考書等	木刀(学校で用意したもの)・運動できる靴								
備考									

科目名	アクションプレイd								
担当教員	ジェイズプロデュース								
講師紹介	アクションチーム・TeamAZURA発足。新ジャンル「アクションプレイ」を確立を目指す。「戦国BASARA」「ダンガンロンパ」等のアクションを手掛ける。担当教員はアクションや殺陣師として多くの舞台を手掛けている。この実務経験を活かして本高座を担当する。								
開講年次	2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・殺陣やアクションの基本を身に付け今後の芝居の中で活かせるようになる。 ・場面や状況、芝居のテーマや目的に応じて殺陣やアクションの振る舞いに変化がつけられるようになる ・殺陣やアクションを通して演技を学ぶ 								
授業概要	<p>「剣殺陣の基礎」/「台詞・芝居を入れて殺陣」/「実際に1シーンを作る」 殺陣の基礎訓練と身体形成が主目的です。ストレッチ、筋力トレーニングや柔軟などを経て、体幹を鍛えたり役者としての基本の役作りをしていきます。最終目標として台詞を挟みながら立ち回りをしていきます。芝居とアクションが一体となる「アクションプレイ」を理解し実践できるようにします。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刀の振り方、リアクション、15手 / 千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 2. 刀の振り方、リアクション、15手、移動稽古、千鳥稽古、千鳥をベースにした殺陣 3. 前回の復習 4. 前回の復習 / 1vs1(まいて斬る、刀を振り遅れて斬られる、芝居有) 5. 前回の復習 / 1vs1(少し手を難しく) 6. 前回の復習 / 1vs2(攻めのポジション両方) 7. 前回の復習 / 1vs2(全ポジション) 8. 前回の復習 / 和物の立ち回り① 9. 前回の復習 / 和物の立ち回り② 10. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り① 11. 前回の復習 / 2.5次元的な立ち回り② 12. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(読み合わせ、殺陣作り) 13. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居指導、殺陣返し) 14. 前回の復習 / 台本を使ったシーン作り(芝居有、曲有) 15. 前回の復習 / 台本を使った殺陣(発表) 								
評価方法	授業課題の取り組み / 出席率								
テキスト・参考書等	木刀(学校で用意したもの)・運動できる靴								
備考									

科目名	発声発音Ⅲ								
担当教員	市村 宏								
講師紹介	海外留学を経て数多くのオペラや、ミュージカルのメインキャストとして出演。Special Soul Unit'Real Blood'の一員。現二期会正会員。担当教員はヴォーカリストとしての実演経験を生かし、発声や歌い方等の授業を行う。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	舞台発声に不可欠な身体を造る 声を最大効率で出すための呼吸法を体得する 出力MAXの発声に慣れ、子音の無声化を体得、滑舌の諸問題を解決								
授業概要	一般に発声と言えは声のみを鍛えがちですが、この授業では、その根本である身体の筋力から鍛えます。くり返し鍛える事で身体能力は増し、容易に声を壊さないスペックを備える事も夢ではありません。それだけではなく、鍛えた筋肉を使い、呼吸法(横隔膜呼吸)や、常にMAXで発声する事で、「無理のきく声」をも造る事が可能です。訓練内容はルーティーン化されており、上手く利用すれば無意識に活用するレベルに達します。ルーティーンに飽きる事なく、技を習得してくれればと思います。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のガイダンス 2. 筋力トレーニング法習得① 3. 筋力トレーニング法習得② 4. 筋力トレーニング法習得③/呼吸法習得① 5. 筋力トレーニング法習得④/呼吸法習得② 6. 筋力トレーニング法習得⑤/母音発声習得① 7. 筋力トレーニング法習得⑥/母音発声習得② 8. 筋力トレーニング法習得⑦/子音+母音発声習得① 9. 筋力トレーニング法習得⑧/子音+母音発声習得② 10. ルーティーンワーク① 11. ルーティーンワーク② 12. ルーティーンワーク③ 13. ルーティーンワーク④ 14. ルーティーンワーク⑤ 15. まとめ 								
評価方法	平常店(主体的な習得意欲、出席含む)、授業の理解								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	トレーニングが出来る服装が必須です。又、水分補給の出来るものを持参して下さい。授業の邪魔になると判断した場合、退出を命ずる事があります。								

科目名	演技総合								
担当教員	中島 陽一／岩瀬 裕								
講師紹介	●中島…大学卒業後、テレビドラマ制作会社に就職。助監督として渡辺謙主演のスペシャルドラマ「刑事一代」に従事した。 ●岩瀬…東京アナウンス学院を卒業後、美術会社に就職。数年の後に母校へ転職し、演技科の業務に携わっている。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期
到達目標	1年次に修得した基礎スキルの発展として、さらに演技の基本を学ぶ。 複数の講師が講座を分担して行う事で、様々な演技メソッドに触れて、俳優としての視野を広げる。								
授業概要	俳優として、息長く活躍を続けていくためには、演技の基礎をしっかりと修得することが重要です。この授業では、1年次に修得した基礎スキルをしっかりと根付かせるための演技レッスンに取り組んでいきます。また、演技を学ぶ上で、様々な演技メソッドに触れることはとても重要です。所属の異なる複数の講師から学ぶことで、俳優としての視野を広げつつ、進路に対する意識も高めていきましょう。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 【A】コメディ要素を含んだオリジナル劇の創作と発表① 3. 【A】コメディ要素を含んだオリジナル劇の創作と発表② 4. 【A】コメディ要素を含んだオリジナル劇の創作と発表③ 5. 【A】コメディ要素を含んだオリジナル劇の創作と発表④ 6. 【B】台本素読み 7. 【B】気持ちの流れ及び滑舌を意識しての読み合わせ、台本を持つての荒立ち稽古 8. 【B】通し稽古 9. 【B】発表 10. 振り返り 11. 【C】互いを知るゲーム、集中力を養うゲーム 12. 【C】シーンスタディ・日本の戯曲・所作 13. 【C】シーンスタディ・海外の戯曲・所作 14. 【C】家族劇を創ってみる 15. まとめ 								
評価方法	平常点(主体的な習得意欲、出席含む)・授業の理解・成果発表								
テキスト・参考書等	必要に応じて戯曲・テキストを使用								
備考									

科目名	学園行事Ⅱ								
担当教員	船場吉行(他、教員が担当)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	実習	時間数	72時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園行事を通じて様々なイベントを体験することで協調性とコミュニケーション能力が高まる ・社会性。一定のルールの下で行動することで、自身がクラスやグループの一員であることを自覚する。 								
授業概要	<p>学生が2年間で体験する学園生活の中で、起点となるイベントは卒業後振り返ってみても実に思い出深いものになることが多い。本校の学園行事は日頃の専門教育から離れて学科間を越え、時には学校間を越えて、ひとつのことを共に経験する過程で得る、貴重な体験を積んでほしい。通り一遍の参加ではなく、積極的な取り組みを願う。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス合宿1日目/アドバイザー企画のイベント、面接他 2. クラス合宿2日目/アドバイザー企画のイベント、面接他 3. 東放学園合同運動会/エントリー種目、全員参加種目他 4. スポーツ大会/クラス対抗ドッチヂール参加、他 5. 学園祭①/クラス・クラブ、有志団体参加他 6. 学園祭②/クラス・クラブ、有志団体参加他 								
評価方法	イベント毎に参加した際の平常点を総合して判断								
テキスト・参考書等	特になし								
備考	現地集合のイベントの場合は交通事情をよく調べてから行動を起こすこと								

科目名	芸術鑑賞Ⅱ								
担当教員	船場吉行他(クラスアドバイザー、教員)								
講師紹介	1993年東京アナウンス学院就任。東放学園高等専修学校を経て、東京アナウンス学院放送声優科を担当、進路指導に携わる。現在は学科を離れ経験を活かした授業等を担当の他、マネジメント業務に従事する。								
開講年次	2年次	必/選	必修	授業形態	講義	時間数	36時間	開講時期	通年
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの華やかなパフォーマンスに刺激を受け授業の糧にする。 ・実際の舞台上で演じる役者のセリフや動き見て、授業等の課題について考えることができる。 ・進路先選びの参考になる 								
授業概要	<p>専門分野の知識・見識を高めるためにプロのパフォーマンスを鑑賞することは重要なことである。芸術鑑賞は該当する学科が学年に応じてテーマを持ち、将来進むエンターテインメント業界の仕事を垣間見る機会をつくる。世間の誰もが知る劇団や評判の高いプロデュース公演、大小様々劇場や美術、場内アナウンスに至るまですべてを吸収して刺激を受けよう。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞作品(1)タイトル未定/作品については劇団、主催等が提案する年次の公演一覧から担当者目的に応じて、作品のテーマ・演出家・出演者等から選ぶ 2. 鑑賞作品(2)タイトル未定/上記に同じ 3. 鑑賞作品(3)タイトル未定/上記に同じ 4. 鑑賞作品(4)タイトル未定/上記に同じ 								
評価方法	参加当日の平常点と鑑賞後のレポートを重視								
テキスト・参考書等	レポート用紙(個人で用意)								
備考	観劇中のマナーは要注意								

科目名	フォトポートレート								
担当教員	西原 敏弘								
講師紹介	カメラマン／スタジオアシスタントを経てフリーとなる。雑誌・PR誌等にて人物撮影を中心に活動。スポーツ関係誌のインタビュー企画ページにて著名人の撮影を担当。担当教員はカメラマンとして多くの撮影作を担当している。本講座はこの実務経験を活かし指導にあたる。								
開講年次	1年次/2年次	必/選	選択	授業形態	実習	時間数	36時間	開講時期	前期/後期
到達目標	オーディション写真を撮る際にオーディション選考されるようなポートレートを撮影。								
授業概要	オーディション写真をきちんと撮られるような意識を持ち、将来の自分自身の姿をカメラ前で表現させる。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. カメラ撮影テスト(きちんとカメラ前に立つ) 3. 自分自身で顔・容姿を知る① (右・左・正面から撮影) 4. 自分自身で顔・容姿を知る② (右・左・正面から撮影) 5. 自分自身で顔・容姿を知る③ (右・左・正面から撮影) 6. 自分自身で自分に合った角度を撮る① 7. 自分自身で自分に合った角度を撮る② 8. 目線と口元の表現① 9. 目線と口元の表現② 10. 服装の色・形を合わせる① 11. 髪型のチェック① 12. オーディション写真を撮る① 13. オーディション写真を撮る② 14. オーディション写真を撮る③ 15. まとめ 								
評価方法	授業に取り組む姿勢								
テキスト・参考書等									
備考	毎週撮影(バストアップ・全身)し、翌週にプリント返却。データとしてCDを渡しますので、半期で実費(5000円)程度が要ります。								